

1はじめに

(1) 群馬県の現状

— 群馬県は自然災害が少ない!? —

●これまで、「群馬県は自然災害が少ない」と信じられてきました。そのため、自然災害に対する県民の意識も低い傾向にあります。

— 災害は、忘れた頃にやってくる... —

●群馬県は、60～70年おきに大水害が起きています。また、大地震や火山の噴火にもたびたび見舞われていますが、こうした過去の自然災害の経験が伝承されていません。

— 行政が何とかしてくれるから大丈夫! —

●いざ災害が起きても「行政が何とかしてくれるから大丈夫」という行政への依存心も極めて高い状態にあります。災害への備えは「自助・共助・公助」を基本に自発的に取り組みましょう。

「自助・共助・公助」とは

- 自助：自分の身は自分で守る
- 共助：地域みんなで助け合う
- 公助：公的機関による救助・援助

「安全神話」から、真の「安全・安心」へ

令和元年10月に猛威を振るった台風19号への備えは、万全でしたか？

いつ地震・台風・大雨が襲ってきても大丈夫ですか？

備えがなくては、安全・安心は得られません。

身近な地域や生活レベルで災害への備えを振り返り、

オール群馬で防災力を底上げしていきましょう。



令和元年 台風被害（富岡市）



平成28年 熊本地震